

# Madama Butterfly

1

イタリアオペラの巨匠  
プッチーニが作曲した  
名作オペラ



Giacomo Puccini

ジャコモ・プッチーニ  
(1858-1924年)

2

日本の  
長崎を舞台にした  
ストーリー

3

主人公は15歳の少女  
「蝶々さん」

4

プッチーニの  
甘く切ない魔法のような  
音楽が涙を誘う

「蝶々夫人」って  
どんなオペラ？

「蝶々夫人」ゆかりの地である  
長崎のグラバー園



◆ 高校生のためのオペラ鑑賞教室 ◆

## 「蝶々夫人」 鑑賞ガイド

### Story

「蝶々夫人」って  
どんなお話？



1

時は明治時代、外国人が多く滞在していた長崎。15歳の芸者の少女・蝶々さんはアメリカの海軍士官ピンカートンと日本での現地妻として結婚する



4

とうとうピンカートンの乗った船が港にやってくるが彼はアメリカ人の妻ケートと一緒に来た



2

やがて「次に駒鳥が巣を作る頃に戻ってくる」と言い残しピンカートンはアメリカに帰ってしまう



3

3年経っても戻らず、周囲は再婚を勧めるが蝶々さんはピンカートンを信じて幼い子供と共に待ち続ける

5

すべてを悟った蝶々さんはケートに子供を託し、武士だった父の形見の短刀で自害する



2005年公演より©三枝近志



新国立劇場

助成 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

協賛 ローム株式会社

損害保険ジャパン日本興亜株式会社



## 「歌」で表現されるお芝居

オペラではセリフをすべて「歌うこと」でストーリーが進行します。オペラも演劇の一種ですが、音楽を伴うことでよりドラマティックに、感情に訴えかける効果が高くなっています。言ってみれば音楽の「魔法」が加わっているのです。

さらに音楽だけでなく舞台美術、衣裳、照明など、あらゆる舞台上の仕掛けが総動員されることで物語の世界に皆さんを連れて行ってくれます。舞台上でできるあらゆる表現手段を結集させた総合芸術がオペラなのです。

※「蝶々夫人」の歌詞はすべてイタリア語で歌われます。ですがご安心を、舞台脇にはきちんと日本語の字幕が表示されます。

## 音楽はとことん「生」の響き

オペラとミュージカルの大きな違いはマイク等を使わず生音で演奏する点。2000人規模の大ホールでも歌手はマイクを使わずに自らの肉体のみで歌声を響き渡らせます。もちろんオーケストラも生で演奏します。また、新国立劇場の客席はその生音が最高の響きで伝わるようほとんどが木で作られています。生だからこそ伝わる音の美しさ、感動をぜひ体験してください。

### オペラ鑑賞のマナー

- 上演中はお静かに (お友達との感想はぜひ終演後のお楽しみに。)
- 携帯電話の電源はOFF
- 客席内は飲食禁止 (飲食はロビーでお願いします。)



高校生で賑わう新国立劇場の客席



オペラ「アイダ」 凱旋行進曲はサッカーの応援でもおなじみ  
2013年公演より©三枝近志



オペラ「カルメン」 一度は耳にしたことのある名曲が満載  
2017年公演より©寺司正彦